

令和7年度 当初予算の概要

問 財政課 ☎76-8113 ID 23625

一般会計予算の総額は 316億4,000万円

()内は前年度比

一般会計

316億4,000万円
(+32億円、+11.3%)

福祉、ごみ処理、道路整備、教育など、市の基本的な仕事を行うための予算です。主に市税で賄われています。

特別会計

162億8,270万円
(+4億9,350万円、+3.1%)

国民健康保険や介護保険など、特定の収入があるものを一般会計とは分けて管理しています。

国民健康保険	71億7,000万円
土地取得	2億6,900万円
旭平和墓園事業	9,870万円
介護保険	69億8,000万円
後期高齢者医療	17億6,500万円

公営企業会計

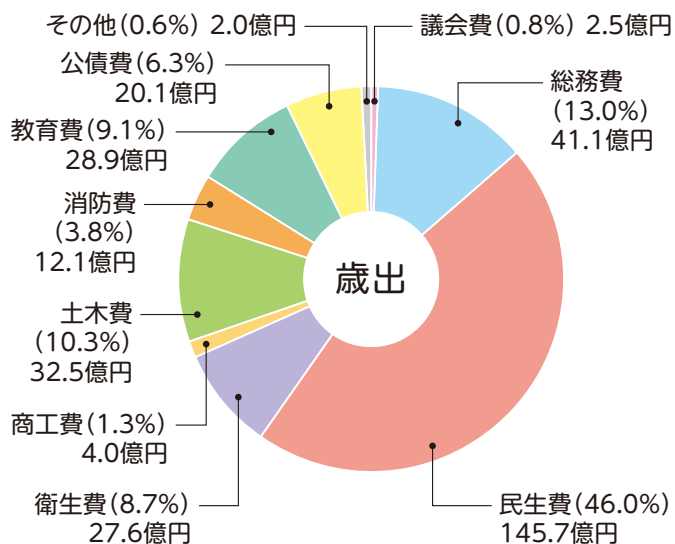
59億4,325万3千円
(+4,977万円、+0.8%)

料金収入などにより、民間の会社のように経営している事業の予算です。本市には、水道事業と公共下水道事業の2つの企業会計があります。

水道事業	24億6,137万8千円
公共下水道事業	34億8,187万5千円

※各表の金額は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計などと一致しない場合があります。

一般会計目的別歳出予算



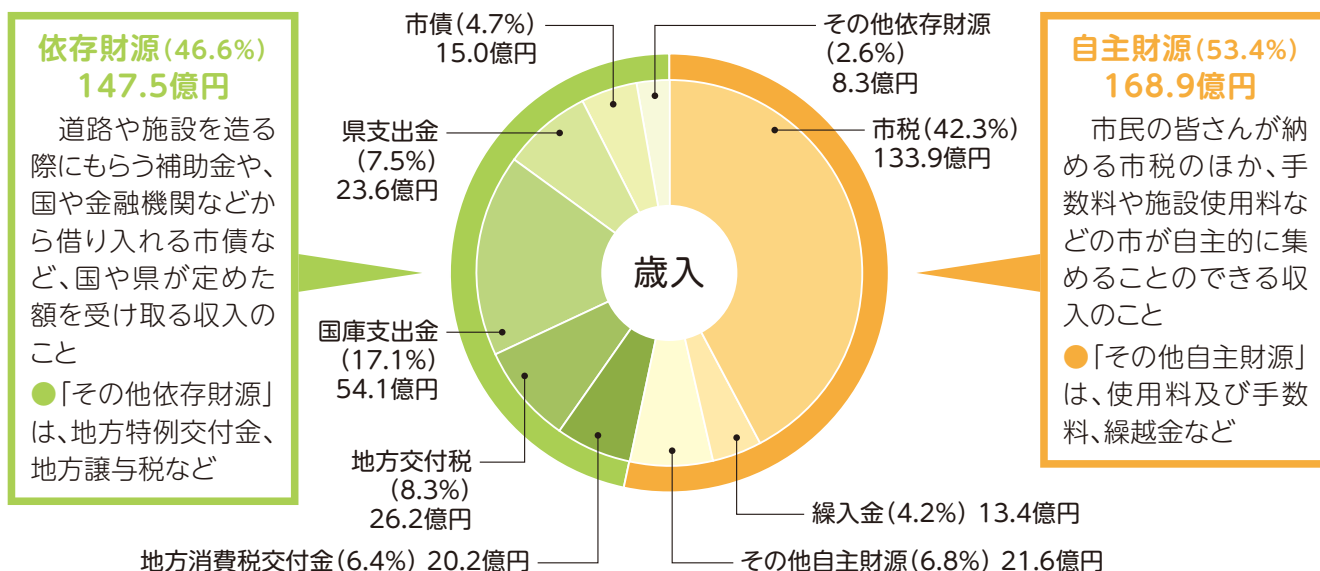
- 議会費 / 市議会を運営するための費用
- 総務費 / 市の全般的な運営や税金の徴収、選挙、デジタル化の推進などの費用
- 民生費 / 障がい者・高齢者支援、保育園の運営、子育て支援などの費用
- 衛生費 / 健康・保健事業、ごみ処理などの費用
- 商工費 / 商工業の振興や観光促進のための費用
- 土木費 / 道路、公園整備、区画整理やまちづくり事業などの費用
- 消防費 / 消防・救急業務や災害への備えなどの費用
- 教育費 / 小・中学校や社会教育、スポーツの振興などの費用
- 公債費 / 公共施設を作るときに国などから借りたお金の返済の費用
- その他 / 農業や仕事を探している人を支援するための費用 など

施政方針(要旨) 全文はホームページで ID 23236

令和7年度は、市制施行55周年という節目の年となります。一丁目一番地として注力してきた防災をはじめとする「安全安心」のまちづくりを引き続き進め、突然起こりうる災害に迅速に対応できる体制の強化を図ります。さらに、人口減少・少子超高齢社会に抗う施策として、「子育て・教育」を最重要施策に加え、保育所の整備を進めるなど、待機児童対策に注力します。また、子育てから教育への切れ目のない行政サービスの提供、誰一人取り残さない教育の実践を目指し、教育環境の整備やデジタル化を推進します。

本市が「住みやすい街」であり続け、とりわけ、子育て世代のかたに、終のすみかとして「住みたい街」に選ばれるためには、限りある財源を最大限に活用し、事業の優先度を見極め、早期に手を打つべきものからちゅうちょなく

一般会計歳入予算内訳



歳入

自主財源

市税／個人市民税は定額減税の終了などにより、前年度比6億400万円、11.3%増加。法人市民税は前年度比1億1,000万円、23.4%増加。固定資産税は前年度比2億600万円、4.2%増加。市税全体では前年度比9億4,040万円、7.6%増加
繰入金／物価高騰対策などにより不足する財源を補填するため、12億円を財政調整基金から繰り入れ

依存財源

国庫支出金／児童手当負担金などの国制度改正などにより、前年度比11億9,462万9千円、28.3%増加
市債／三郷駅周辺まちづくり事業や中学校体育館等空調設備整備事業などに充てるため、建設債を15億90万円計上

歳出

本年度に実施する重点事業や新規事業などを次ページ以降で紹介します。

「財政」のことをもっと身近に感じていただくため、「おしえてあさびー! 尾張旭市の財政」を作成しました。本市の財政状況をもっと知りたいかたは、ぜひご覧ください。ID 23632

目次(抜粋)

- 財政ってなんだろう?
- 令和5年度決算
- 市税が減ったら大変なことになる?
- 「厳しい財政状況」ってどういうこと?
- 一般会計歳入・歳出
- 人口が減ったら困るの?
- 借金はあるの?
- 貯金はあるの? など



対処していく必要があります。現場や市民の皆さまから直接悩みや意見をお聞きし、さまざまな事業の重要性や課題を把握するという私の市政運営の基本姿勢を継続しながら、各事業を着実に、力強く推進していきます。

本年4月の組織変更では、スポーツ分野を教育委員会から市長部局へ移し、「健康都市・スポーツ課」を新設いたします。スポーツの持つ可能性とこれまで築き上げてきた健康都市のさまざまな取り組みを融合させることで、暮らしの中に「楽しさ」を創出するまちづくりにつなげられる可能性があると考えています。こうした変化、新しい風を加えながら、魅力あるまちづくりを推進し、「昨日よりも今日、今日よりも明日がもっと輝く、幸せを実感できるまち」を目指してまいります。

尾張旭市長 柴田浩

令和7年度の主要事業

令和7年度に実施する主要事業を紹介します。

※令和7年度当初予算のほか、令和6年度3月補正に計上した繰越事業も含めています。

防災

全中学校の体育館と柔剣道場の空調を整備

2億7,000万円

夏季における安全な教育環境の整備と、災害時における避難所としての防災機能の強化を進めるため、停電時にも使用可能な空調設備を整備します。



指定避難所のトイレを整備

1億5,700万円

指定避難所となっている公民館8館および東部市民センターの1階トイレを改修し、避難所の生活環境を改善します。

中央防災倉庫を整備

1億5,000万円

市内3カ所の地域防災倉庫を集約し、市中心部に位置する消防本部敷地内に整備することで、災害時の効率的な物資搬送を可能にするとともに、物資の管理を一元化します。
(令和8年度運用開始予定)

子育て・教育

民間保育所の新設

4億8,694万円

待機児童解消を目的とし、民間保育所を運営する事業者に対し、施設新設費用を補助します。(令和8年4月開園予定)



北原山土地区画整理事業地内(定員90人)



旭前町二丁目5番地3(定員80人)



保育園の空調を改修

7,800万円

園児や職員などが安全で快適に利用できるよう、更新時期を迎えた空調設備の改修を計画的に実施します。

令和7年度対象保育園

藤池・本地ヶ原・茅ヶ池・はんのき保育園

民間学童クラブの定員を拡充

2,520万円

放課後児童クラブの待機児童対策を推進するため、既存民間学童クラブの移転による定員拡充経費を補助します。
(令和8年4月運用開始予定)

対象学童クラブ

あさひ学童クラブ、ふじいけ学童クラブ

水泳授業民間プール活用校を市内小学校全9校に拡大 3,600万円

暮らしやすい 魅力あふれるまちづくり

まちの整備

三郷駅周辺まちづくりの推進

9億9,414万円

三郷駅前地区市街地再開発事業を推進するため、再開発組合を支援するとともに、「まち育てプロジェクト」を推進します。

印場駅北側のバリアフリー化整備

2,300万円

駅自由通路北側へのエレベーターの設置や、歩行者の安全な導線確保のための歩道整備などを含めた詳細設計を実施します。(令和8年度整備工事予定)

労災病院西交差点を改良

1,511万3千円

渋滞緩和および交差点の安全性・利便性を向上させるため、道路線形の見直しを含めた交差点改良の詳細設計などを実施します。(令和8年度改良工事予定)



交差点右折車滞留による渋滞状況



計画平面図(案)

北原山土地区画整理事業の推進 7億7,400万円

安心の提供

消防通信指令業務の共同運用を開始

2,794万7千円

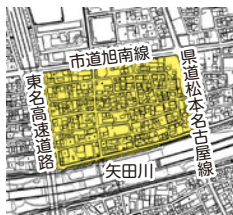
令和7年4月から名古屋市防災指令センターで消防通信指令業務の共同運用を開始し、指令業務をより迅速かつ的確に行えるようにします。



庄中南地区の交通安全対策を推進

2,000万円

生活道路の通り抜け車両の抑制など、安全で快適な空間の整備を推進します。



整備地区



スムーズ横断歩道

予算の詳細は、
ホームページで

ID 23625

物価高騰対策(令和7年度分の主なもの)

● 国民健康保険税率の激変緩和措置	3億円
● 小・中学校の給食材料費高騰への支援	6,277万7千円
● 指定管理園の保育士などの処遇改善	2,760万円
● 市内事業者への省エネ設備投資促進補助金	2,000万円
など	
合計	4億3,847万7千円